

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 宗田 幸次
TEL098-867-0118 (内線2530)

巡視船「くだか」による海流観測結果

～ 管内海域の流況把握を目指し ～

第十一管区海上保安本部では、搜索・救難、油流出防除等の迅速・的確な実施に必要な搜索等の区域設定に資する漂流予測の精度向上を図るため、管内海域の流況把握を目指し、海の観測を実施しており、その一つとして、巡視船による海流観測を実施しています。

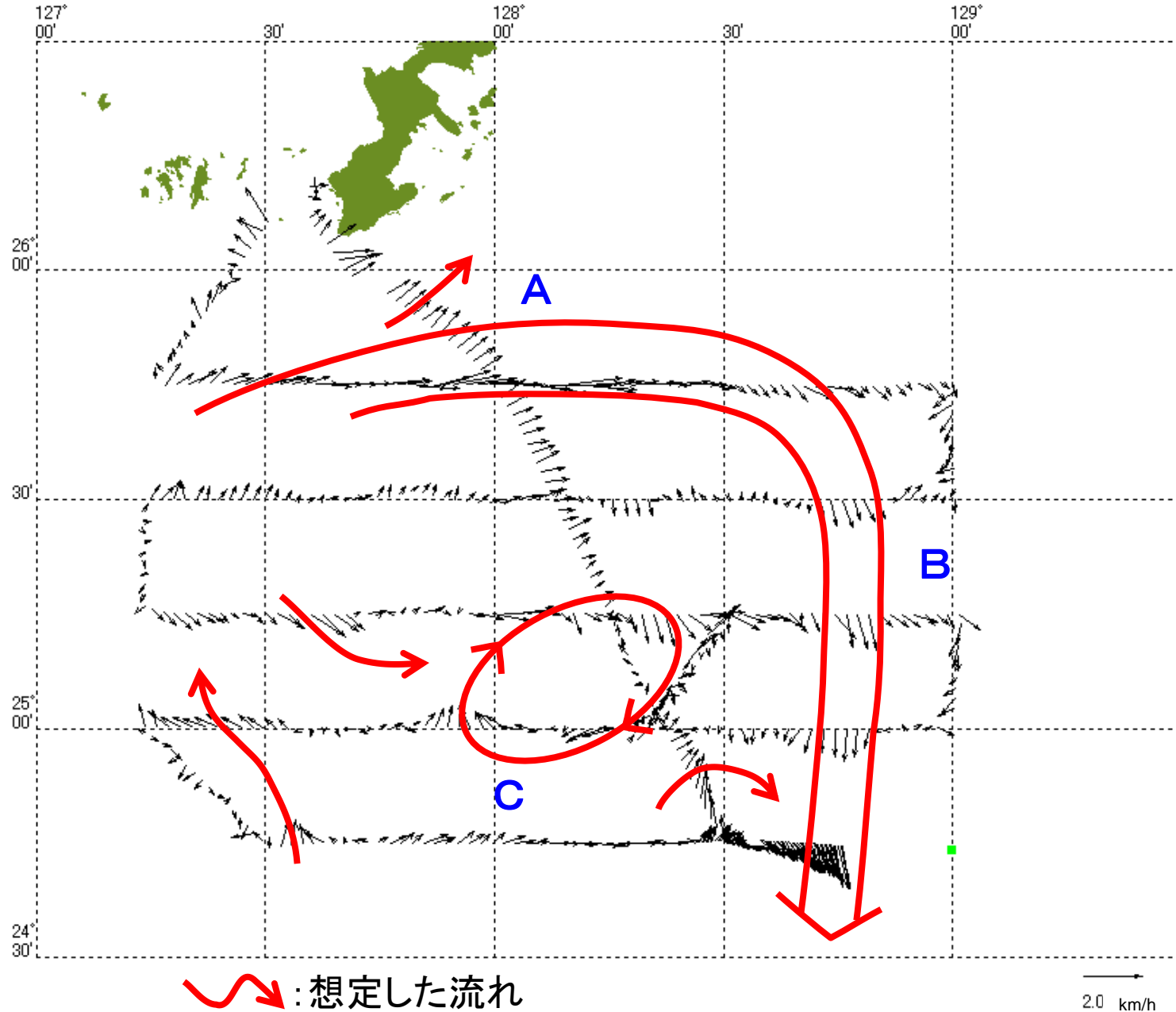
巡視船「くだか」により、平成23年12月26日から12月28日の間で、沖縄島南方海域にて流れと水温の観測を実施しましたので、その結果の概要を報告します。

今回の観測結果は、漂流予測に使用している流れの精度向上に活用されます。

観測結果から同海域における流れ及び水温について、次の状況が解りました。

- ①流速1.8～2.8km/hの東向き（付図1に示す「A」）から南向き（付図1に示す「B」）に変わる流れが存在
- ②流速1.8km/h前後の渦が存在（付図1に示す「C」）
- ③海面から最大水深150m付近まで水温が一様となる冬季の特徴を捉えました。
（付図2～付図3）
- ④水深4～200m付近までは観測海域北西部（付図4に示す「D」）が高く、南東部（付図4に示す「E」）が低くなっており、水深400mで北東部（付図4に示す「F」）が低く、南部（付図4に示す「G」）が高くなっていました。

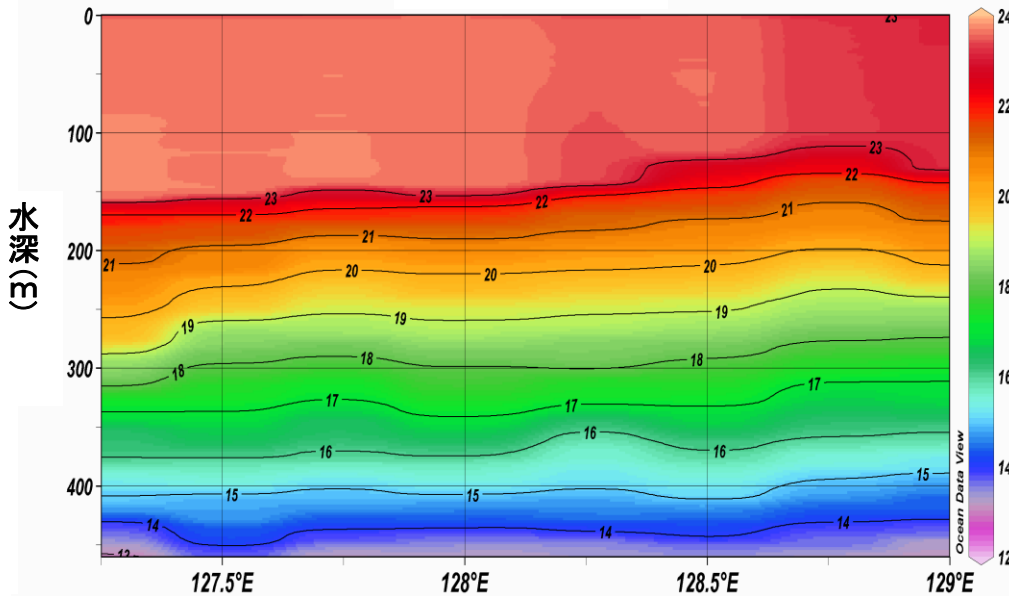
「くだか」が観測した海流の矢符と水温の状況から特徴的な流れを想定し線で描画した図



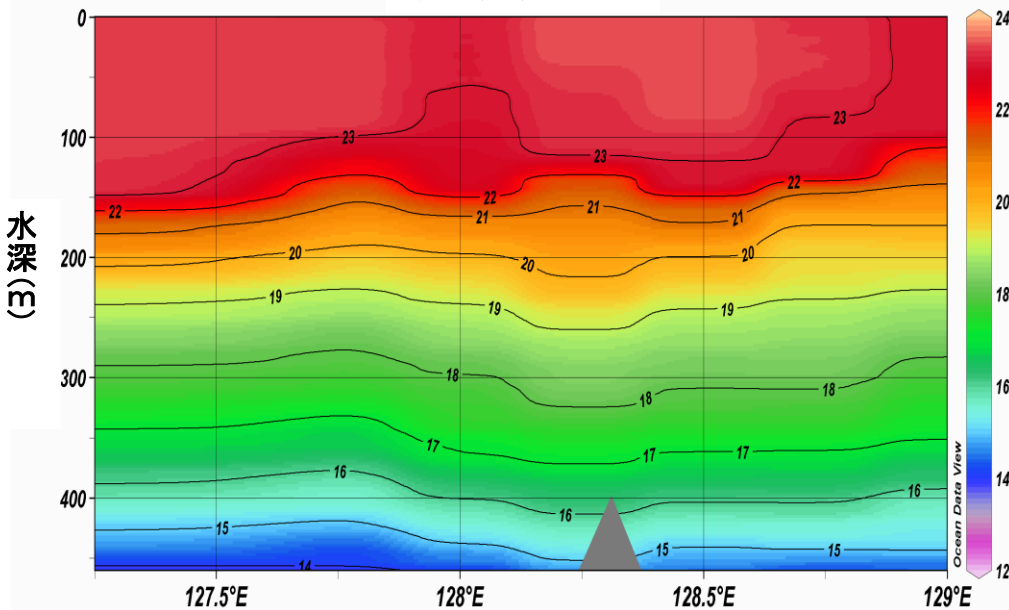
「くだか」が観測した水温の鉛直分布図

付図2

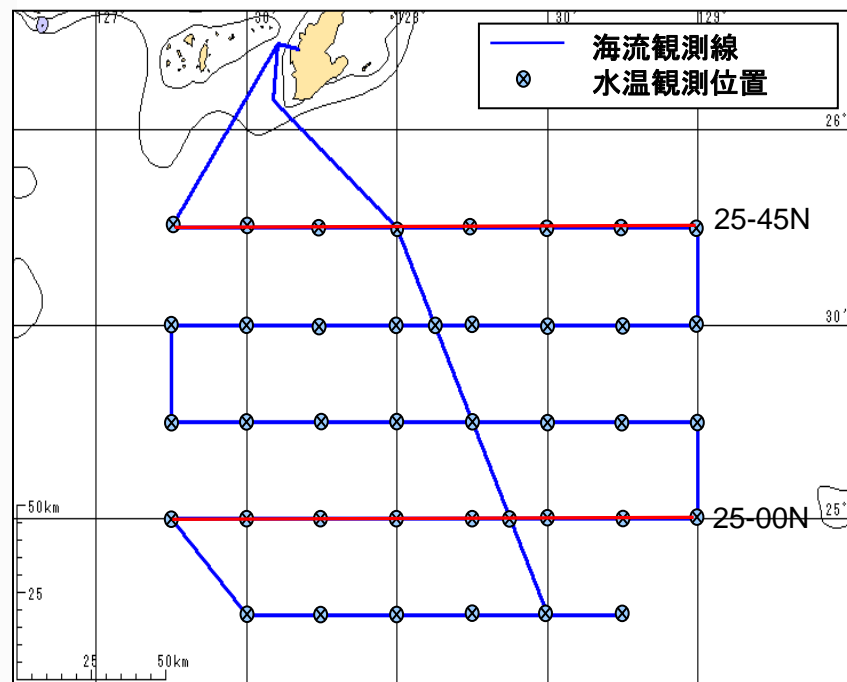
25度45分N線 水温(°C)



25度00分N線 水温(°C)



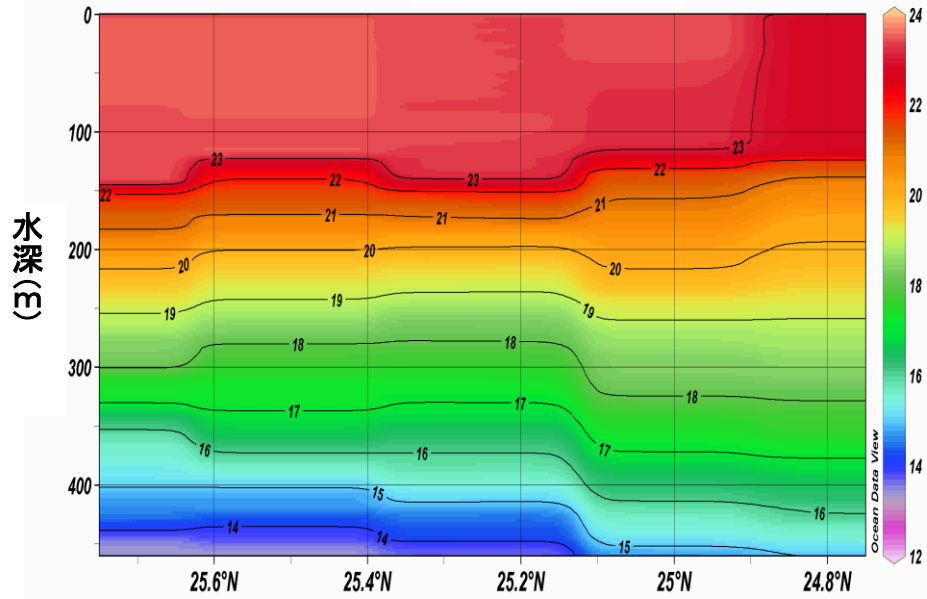
観測線及び観測点図



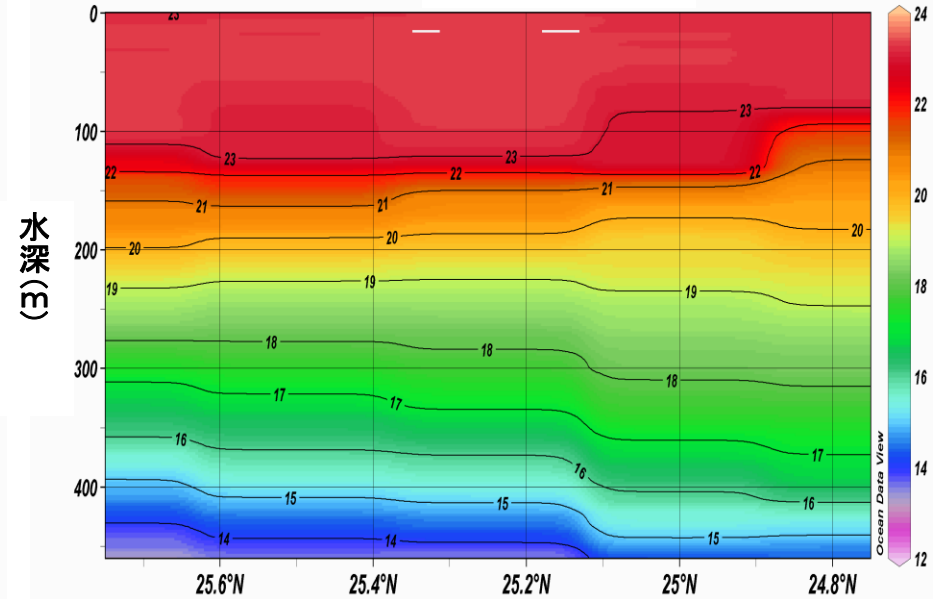
「くだか」が観測した水温の鉛直分布図

付図3

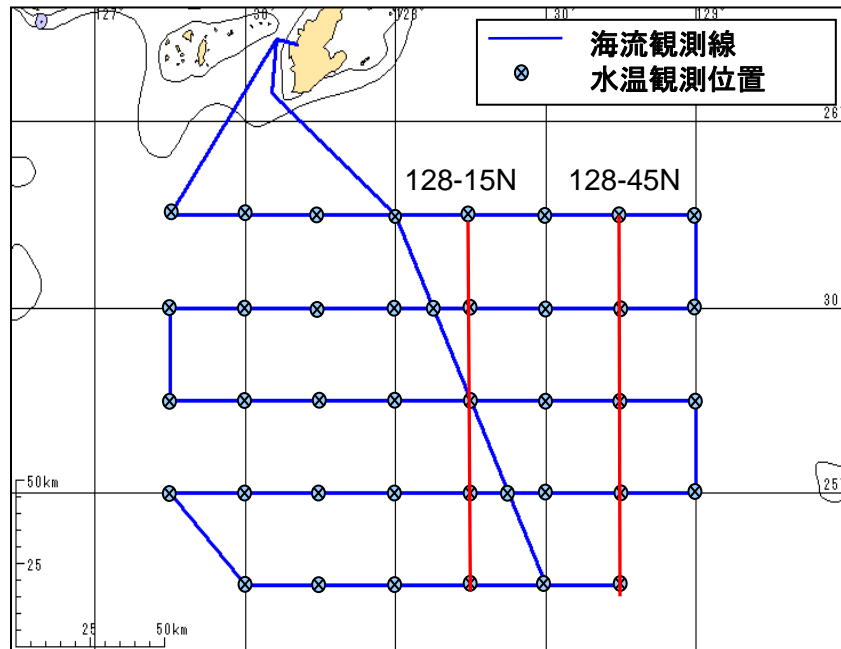
128度15分E線 水温(°C)



128度45分E線 水温(°C)



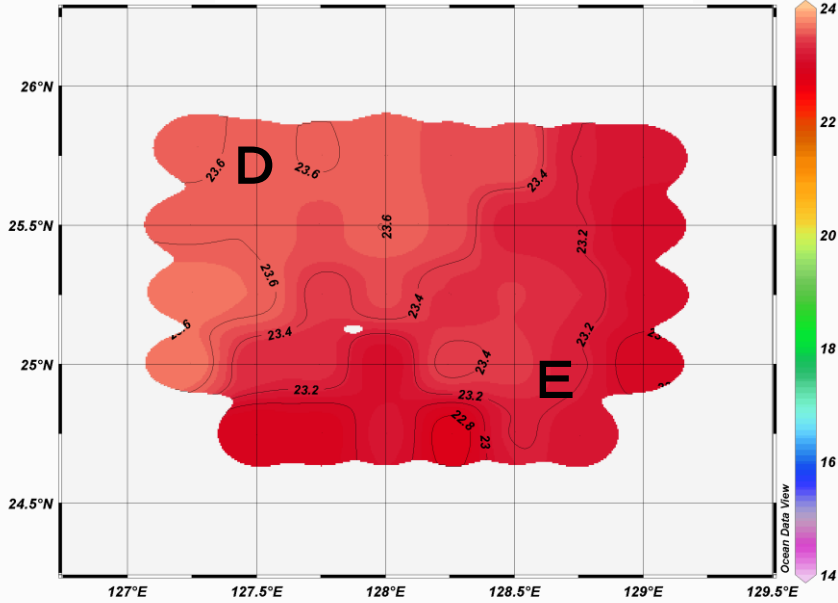
観測線及び観測点図



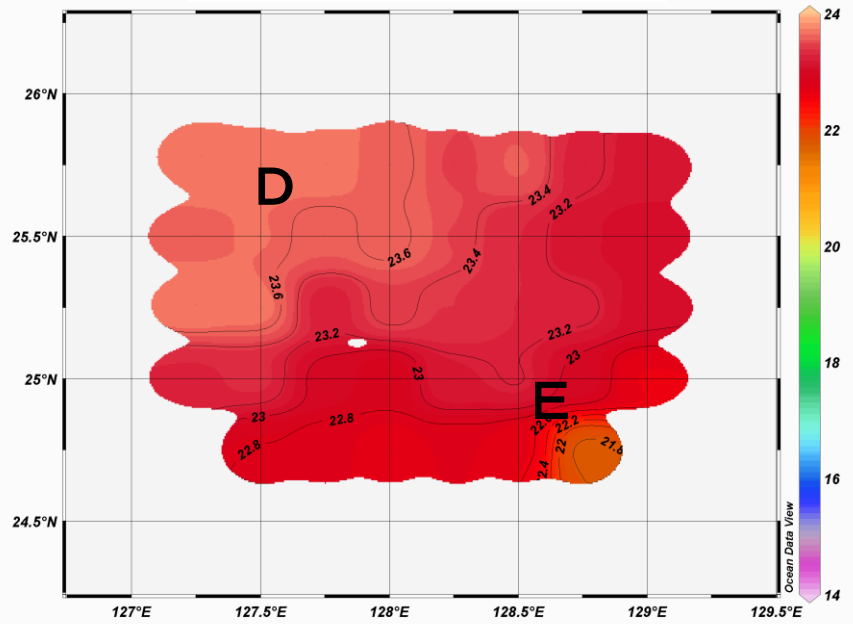
「くだか」が観測した水温の水平分布図

付図4

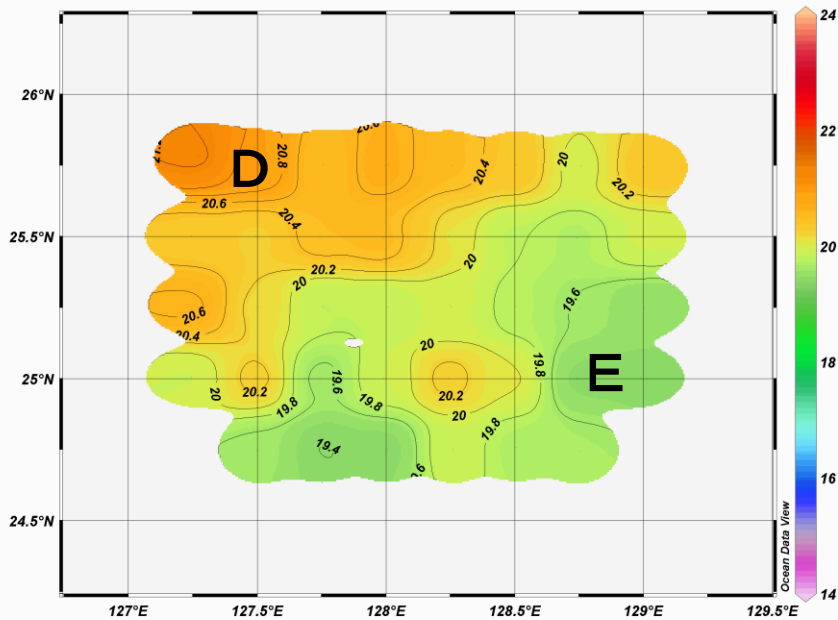
水温(°C) 水深 4m層



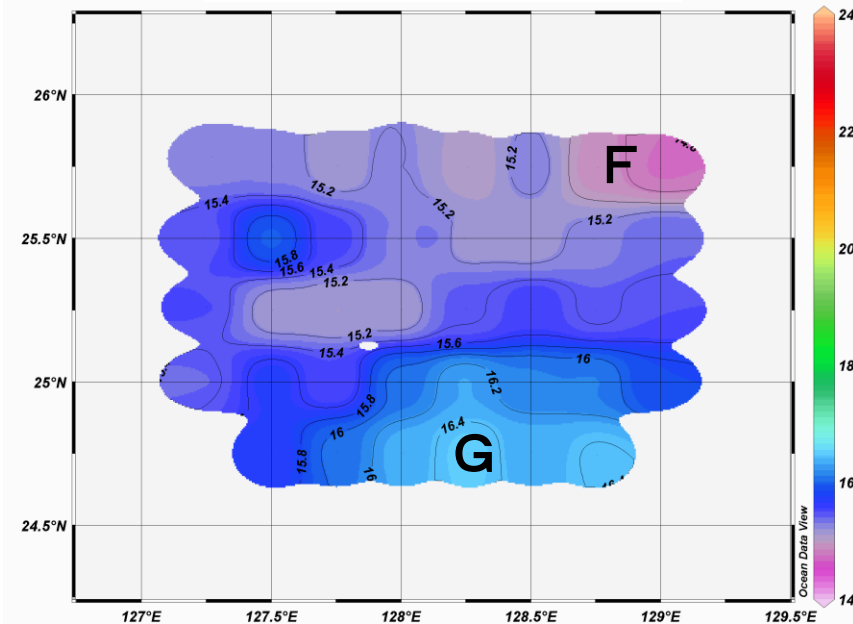
水温(°C) 水深 100m層



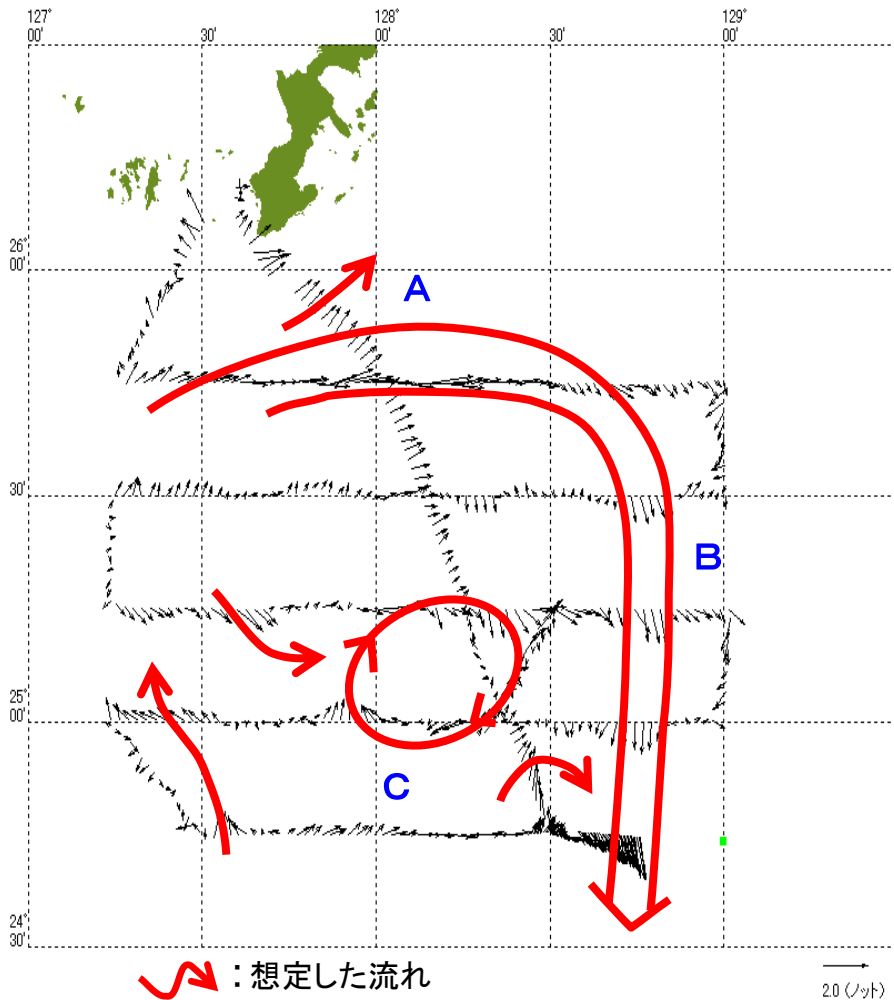
水温(°C) 水深 200m層



水温(°C) 水深 400m層



「くだか」観測データと想定した流れ



計算データ(H23.12.27)と想定した流れ

